

Column-2- マンガの作り方と 多様な道具たち

マンガはどんな道具を使い、どの ようにして、作られているのでしょ うか。きゅっきゅぼんさんのマンガ 制作方法・道具を徹底解説します！



ようやく完成！

完成した原稿はデータ化▶ 印刷▶製本される。全国の 書店やインターネット上で 販売され、読者の元に届く。



- 1 消しゴムのカスを払う「羽根ブラシ」
- 2 枠線用「ミリペン」
- 3 きゅっきゅぼんさんお手製のおもしろ人物や背景などを描く「Gペン④・丸ペン⑤」
- 4 製図用インク（ペン先をインクに浸して描く）
- 5 曲線を描く「雲形定規」
- 6 にじみ防止用「1円玉定規」（マンガ家が自作することで有名）
- 7 背景を貼る「トーンスティック」
- 8 トーンを切るための「ペンナイフ」



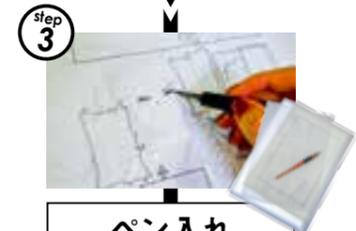
step 1 アイデア出し・ネームの作成

マンガの肝である物語の題材や内容、登場キャラクターなど基礎情報を考える。基礎を固めたらコマ割（基本は1Pに6コマ）しながら大まかに絵を描いていく。



step 2 下書き

ネームを参考に、より具体的に絵を描いていく。同時にセリフなども考えるが、それ以外の言葉は書かない。



step 3 ペン入れ

下書きをトレース台に挟み上に敷いた原稿用紙を敷く。光で透かし浮かび上がった線をGペンでなぞり描写する。



step 4 べた塗り

髪の毛や服など、黒い部分を塗りつぶしていく。道具は、市販されている筆ペンを使用するのが一般的。



step 5 ホワイト塗り

絵を魅力的に表現するため市販の修正液などを使い、目や髪の毛の一部を塗りつぶし光の反射を表現する。



step 6 背景の作画・トーンの貼付

背景を描く作業だがアシスタントに任せる場合が多い。同時に人影や服に柄を付けるためのトーンシートを随所に切り貼りする。



連載終了後、二人の写真

昭和10年頃「星間ブリッジ」のモデルの祖母⑥と曾祖母⑦が撮った写真が連載終了後に見つかりました。異国・上海で旗袍（チャイナドレス）に身を包み満面の笑みを見せる様子は登場するキャラクターのイメージそのまま。



実感にこだわるあまり、およそ50冊の参考資料を購入。また当時の上海の人や物、雰囲気を実際に体感するための取材旅行をするなど、一から学び直したといえます。そして迷い、不安になりながらも描き上げた初連載「星間ブリッジ」。物語の進行も「敵国同士でも心はつながっていたことをどう表現すれば伝わるか日々葛藤しました」と、執筆中の苦労をにじませます。その物語はSNS上で「いい話でずんずん引き込まれた」「何度も何度も感動して泣きそうになる作品」など、予想以上の反響でした。その声は国内に留まらず、中国やアメリカなどからもコメントが寄せられ、約2年間続いた「星間ブリッジ」は、国や言語を超え、多くの共感を呼びました。



”私が愛した祖国は… あなたの街を焼きました。”

—星間ブリッジ— あらすじ

舞台は昭和初期。日中戦争が起こる1年前、中国・上海に渡った長崎の少女・ハル。その地で中国人の少年・シンと運命の出会いを果たし、親交を深めていきます。しかし、時は激動の日中戦争へ——。時代に翻弄されながらも強く生きる二人の運命はいかに…。

90歳を超える祖母が過ごした青春時代は、日中戦争さなかの敵国・上海。当然、悲しい体験談ばかりだと思っていたきゅっきゅぼんさんの想像と、祖母から語られた現実とは少し違っていました。上海にあったパートへ買い物に行くことが楽しみで仕方なかったこと、少女向け雑誌に胸をときめかせていたこと——。現代を生きる私たちと同じ様に、戦時中の少年・少女たちも

念願のプロデビューを果たした「ゲッサン」の付録本で、読み切りマンガを数本発表した後、いよいよずっと夢見ていた連載マンガ家になんてかき立てられずテーマ選びから難航していました。そんなとき、ふと大学時代に長崎の祖母から聞いた話を思い出したと言います。

おばあちゃんの昔話から 初連載「星間ブリッジ」誕生



PICK UP! SCENE ”2人だったら最強だね！ なあ、ぼくら… 「兄弟」になろうや！”

シンが中国人という理由で差別されたり、街で感じた日本人への厳しい眼差しから、日本と中国が敵国同士である事実を痛感するハル。悲しくなったハルは「私たち敵なん…？」とシンを訪ねるが…。

題材も固まり、いざマンガの構成を考え始めたきゅっきゅぼんさん。 学び・迷い・不安の末に 国を超えて伝わった思い

はつらつとした青春時代を送っていたことを知り「自分自身が過ごした中学・高校時代と同じような感覚がありました」と、想像とは異なる印象に大きな衝撃を受けたといえます。「この話であれば描ける」という感じなきゅっきゅぼんさんは担当者にこの話を伝え、自身初の連載マンガ「星間ブリッジ」の執筆を始めます。



せい かん 星間ブリッジ 制作秘話

(SECRET STORY BEHIND THE -SEIKAN BRIDGE-)